

2022年11月18日
三菱鉛筆株式会社

人を育てる緑を育てる 鉛筆の資源循環システム『フォレストサポーター鉛筆』 「ウッドデザイン賞 2022」奨励賞を受賞

三菱鉛筆株式会社(社長:数原滋彦)は、人を育てる緑を育てる、鉛筆の資源循環システム『フォレストサポーター鉛筆』で、このたび2022年度のウッドデザイン賞(一般社団法人 日本ウッドデザイン協会主催)において、奨励賞(審査委員長賞)・ソーシャルデザイン部門を受賞いたしました。

【ウッドデザイン賞とは】

ウッドデザイン賞は、木の良さや価値をデザインの力で再構築することを目的として、優れた建築・空間や製品、活動や仕組み、研究等を募集・評価し、表彰する顕彰制度です。8回目の開催となる今回は、330点の応募作品の中から188点の受賞作品が決定しました。さらに最終審査が実施され、最優秀賞(農林水産大臣賞、経済産業大臣賞など)4点、優秀賞(林野庁長官賞)9点、奨励賞(審査委員長賞)15点が発表されました。

【授賞理由】(審査員のコメント)

本体の途中までしか芯が入っていないため、書けなくなった時に自然に子どもが資源循環やリサイクルを考えるきっかけになる、コミュニケーションツールとしての文具である。国産材利用の意義とSDGsの意味を学ぶファーストステップとしてよい。



奨励賞(ソーシャルデザイン部門)審査委員長賞

鉛筆の資源循環システム『フォレストサポーター鉛筆』

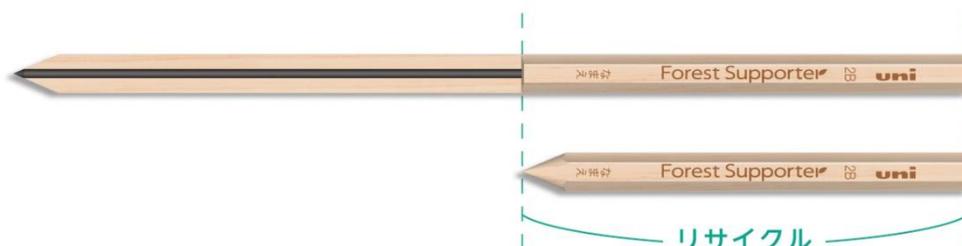
受賞した鉛筆の資源循環システム『フォレストサポーター鉛筆』について

「鉛筆の資源循環システム」とは、木材を主材料とする“鉛筆”を使い終わった後に回収し、棒状肥料やバイオマス発電として再利用をするシステムです。三菱鉛筆では、「美しい森林づくり推進国民運動 フォレスト・サポーターズ」を運営している公益社団法人国土緑化推進機構の協力を得て、再生利用しやすい“鉛筆”として国産ヒノキ材から「フォレストサポーター鉛筆」を開発し、2021年11月から品川区郵便局で、1年間のテスト発売を実施いたしました。

【デザインの特長】

■後端に芯が入っていない鉛筆

正しく持つことができる長さまで芯が入っており、後端に芯が入っていない鉛筆です。使い終わると芯が含まれておらず、自然由来の接着材と塗料を使っているため、再利用しやすいという利点があります。



使い終わると芯がなくなります。

芯がないところは回収して活用、肥料に生まれ変わります。

「フォレストサポーター鉛筆 説明図」

【鉛筆の資源循環システムについて】

本システムは、まずは品川郵便局配達区域内の小学校・義務教育学校の11校と品川郵便局を対象に使用済み鉛筆回収箱を設置し、実証実験として運用しております。「フォレストサポーター鉛筆」以外に従来の鉛筆も回収可能で、通常の鉛筆はバイオマス発電として再利用します。

「鉛筆の資源循環システム」により、“学ぶ”時に初めて手にする鉛筆を通じて“資源循環”を体験し、実感してもらうことを目指しています。この活動は、日本郵便株式会社東京支社、株式会社サカタのタネ、品川教育委員会、三菱鉛筆株式会社の4社協業で行っております。



『鉛筆の資源循環システム』

実証実験として、回収箱を設置した学校に「フォレストサポーター鉛筆」を配布し、同時に品川郵便局にてテスト販売をいたしました。

設置する回収箱は、今回開発した「フォレストサポーター鉛筆」と従来の鉛筆を分別回収いたします。回収箱に集められた使用済みの「フォレストサポーター鉛筆」は日本郵便が回収し、三菱鉛筆内で木粉化された後、サカタのタネの開発協力を得て棒状肥料として加工後、回収箱を設置していただいた学校に無償配布します。



回収箱「ペンシルポスト」

【商品概要】

商品名	フォレストサポーター鉛筆
品名	FS 鉛筆 品川区 2B
木材	日本ヒノキ
硬度	2B
参考価格	1,584 円(税抜 1,440 円)

＜報道関係お問い合わせ先＞
三菱鉛筆株式会社 経営企画室 広報担当 飯野 庫田
TEL 03-3458-6222/FAX 03-3458-6217

※商品に関するお問い合わせは「三菱鉛筆 お客様相談室」でお受けしています。TEL 0120-321433